

(1) 【報告事項】

1 令和4年度 芦屋川カレッジ及び大学院

芦屋川カレッジ第39期生及び聴講生、大学院15期生

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第39期	日本文化コース	30	8	18	26
	世界文化コース	30	7	17	24
芦屋川カレッジ 聴講生	日本文化コース	40	17	22	39
	世界文化コース	40	12	29	41
芦屋川カレッジ 大学院15期	こころおどる世界の祭り・カーニバル	72	31	45	76

今年度の募集は芦屋川カレッジのホームページ作成、チラシ配布、芦屋市役所のスポット掲示板でのPR、学友会からの勧誘など増強しました。しかしながら芦屋川カレッジ受講生は50名に留まりました。聴講生応募者数は世界文化コース88名、日本文化コース42名、大学院99名となり、それぞれ定員を上回る応募があり、抽選となりました。

芦屋川カレッジの学習プログラムにつきましては、「文部科学省・長寿社会における生涯学習の在り方について(素案)」および「第3期芦屋市教育振興基本計画」を参考に「人生100年を通じた学びの推進」として策定いたしました。

① 生活基礎能力の学び

高齢者が、リタイア後の第二、第三の人生を明るく安心して生活するため、健康維持、資産管理、加齢に伴う人間関係の変化、医療の基礎知識など身体的にも経済的にも自立した生活を送っていくための学びを進めます。またデジタル化社会の進展に対応し、高齢者がICT(情報通信技術)を使えるようになることは、コミュニケーションや、正確な情報を把握するためだけでなく、情報発信を通じて社会貢献するためにも必要であり、生活の基礎能力として学ぶ機会を設けます。第二、第三の人生設計を行う上で、「死をめぐる学び」も重要であり、終末期の在り方も含めた人生設計を考えるきっかけとして、今年度はギリシャ哲学の死生観を学びます。

② 一般教養としての歴史、芸術、哲学、サイエンス、政治経済などについても学びます。

③ 日本文化コース・世界文化コースの選択学習により興味ある文化の知識を深めます。

④ 知の循環への環境づくり

係別グループによる自主運営活動を通じ、仕事中心の「タテ社会」から地域中心の「ヨコ社会」へのライフスタイルの意識の変革を進めます。グループ活動で、人生で培ってきた知識・経験を活用し社会貢献活動するための基礎を作ります。学習成果をもとに、卒業後の自主活動グループなどを通じて地域社会に還元できる環境を築きます。

芦屋川カレッジ大学院カリキュラム策定の基本的な考え方

大学院は芦屋市の特徴的な生涯学習プログラムのひとつであり、芦屋川カレッジで第二、第三の人生を過ごすための一連のプログラムを修了し、更に深く広範な学びを求める卒業生の要望に応えるものです。従って、カレッジでは多岐な分野の講座を設けていますが、大学院では1年間で学習する大テーマを設け、理解を深めるため、それぞれの分野に関わる行政・NPO・企業などの第一人者、大学教授、学芸員らを招聘しています。(テーマについては毎年新たなものとするので、1年限定の芦屋川カレッジと異なり、受講希望者は継続して大学院を受講できます)

令和4年度大学院のテーマは「こころおどる 世界の祭り・カーニバル」とし、それぞれの歴史的な背景、民族、宗教、比較文化、文化人類学などの切り口で理解を深めることにいたしました。

芦屋川カレッジ、聴講生および大学院の学習プログラムを別紙添付いたします。

2 春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 「わたしの映画製作術」	4月4日	300	87	87	87	87
日本中世史講座 「14世紀の戦乱を考える」	全3回 4月14日、5月12日、6月9日	60	72	65	172	47
哲学入門講座 「幸福とはなにか アリストテレスの倫理学入門」	全3回 4月28日、5月26日、6月23日	60	68	65	169	44
近現代史講座 「近代日本の『政変』 －内閣が替わるとき－(3)」	全3回 4月2日、5月14日、6月11日	60	75	65	171	42
美術史講座 「聖母の美術史－信仰を育んだイメージ」	全3回 4月25日、5月30日、6月27日	60	82	67	171	42
日本人の源流・神話を訪ねて 「古事記から読み解く言葉の力」	全3回 4月18日、5月9日、6月13日	60	70	64	168	45
「世界はニュースだけではわからない」	全6回 4月16日、5月21日、6月18日、 7月16日、8月6日、9月17日	60	99	71	—	—
「文化の歴史」	全6回 4月21日、5月19日、6月16日、7 月21日、8月18日、9月15日	60	101	74	—	—
芦屋市立病院公開講座	全5回 4月9日、5月14日、6月11日、7 月9日、8月(中止)、9月10日	60	141	141	141	各回 毎募 集
芦屋大学公開講座 「発達障がいのある人の学ぶこと働くことを考える」 「オーストラリア先住民のアート」	2回 3月14日、3月26日	60	59	59	71	12

3 夏の公民館講座（8月16日現在）

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
音楽史へのいざない ～モダニズムの音楽～ブラジルからパリへ	全3回 7月2日、7月23日、9月3日	70	65	63	96	34
日本美術の魅力 ～江戸美術の華・琳派と浮世絵～	全3回 7月23日、8月22日、9月3日	60	88	71	61	61
経済学講座 「変化する国際政治と日本経済 －日本の経済政策は何処で間違えたのか」	全3回 7月4日、8月22日、9月3日	60	94	67	119	51
近現代文学講座 「関西文化に育まれた文学」	全3回 7月23日、8月27日、9月24日	60	59	54	54	54
時空を旅する講座 「鎌倉殿の13人」	全3回 7月14日、8月25日、9月22日	90	113	87	87	87
芦屋の歴史と文化財 学芸員と探る芦屋の歴史	全3回 7月25日、8月8日、9月26日	60	90	59	111	52

特記事項

新型コロナ対応として、隣の席を空けるため音楽室以外は定員60名に抑えてきましたが、プロジェクターを使わない講座は窓を開放し換気が十分確保できますので、定員90名に緩和しました。CO2濃度計で常時部屋の換気度を監視しておりますが、良好なレベルです。

（受講生のマスク着用、検温、手指消毒は従来通りです）

また、今期から、芦屋市職員の学芸員3名の方に芦屋市の歴史、文化財の講演をお願いし好評です。

4 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
フルート・クラリネット・ピアノの午後	全1回 7月30日	70	174	82

5 講演会・公開セミナー

事業名	実施日	参加人数
家庭教育セミナー くらべない子育て ～子供の意欲、折れない心、学力を伸ばすために～ 共催 芦屋市PTA協議会・公民館	7月1日	57人
消費生活セミナー 18歳から狙われる！ ～若者の消費者トラブル防止のためにできること 共催 芦屋市地域経済振興課・公民館	8月1日	9人

親子ひろば	人形劇と作って遊ぼう！	8月6日	14組・33人
平和事業	講演会 みんなで考える平和セミナー 女性たちのシベリア抑留	8月10日	105人
平和事業	平和を考える映画会 六千人のユダヤ人を救った日本領事の決断 「命のビザ」	8月27日	—

特記事項

「女性たちのシベリア抑留」につきましては、読売、朝日、毎日、神戸各紙阪神版に告知記事が掲載されたこともあり、反響も大きく、定員をオーバーする105名の参加がありました。

朝日新聞のインタビュー記事を添付いたします。

6 常設展示事業

「芦屋の街かど写真展」	3月28日～4月6日
「芦屋川カレッジは修了後が楽しい展」	4月8日～4月16日
「みんなで考えよう平和展」	8月3日～8月26日
「夏休み子ども教室作品展」	8月27日～9月5日
「音楽とバレエ 成り立ちから『瀕死の白鳥』へ」公民館音楽会関連展示 (協力：兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション)	
※芦屋大学バレエコースと協働での展示	9月10日～9月26日
「芦屋のペット、大集合写真展」	10月12日～10月22日
読書の秋！「読書週間・こどもの読書週間ポスターデザイン展」	10月27日～11月7日

7 公民館ギャラリー

「魔法の手」	4月20日～4月25日
「クレパスの会」	4月28日～5月2日
「あしやYO写楽会作品展示会」	5月11日～5月16日
「淡遊会」	5月15日～5月20日
「日本画芦の会」	10月2日～10月9日
「芦屋郵趣会」	11月11日～11月14日
「コミスク活動展」	11月16日～11月21日
「MOA美術館芦屋児童画展」	11月25日～11月27日
「市老人クラブ連合会活動展」	11月28日～12月2日
「篆刻展」	11月8日～11月11日
「OLIVE絵画展」	12月14日～12月19日
「芦風会」	12月21日～12月26日

8 夏休み子ども教室

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 粘土の夏モチーフで作るフォトフレーム (午前)	14	31	11
② 粘土の夏モチーフで作るフォトフレーム (午後)	14	28	14
③ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」 (午前)	14	30	14
④ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」 (午後)	14	19	13
⑤ クッキーを作ろう	10	47	中止
⑥ 水彩画を楽しむ「ひまわりの花を描こう」	16	22	15
⑦ 水彩画を楽しむ「ひまわりの花を描こう」	16	17	13
⑧ オカリナ教室	16	33	14
⑨ オカリナ教室	16	23	15
⑩ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」	16	27	13
⑪ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」	16	31	14
⑫ そば打ちを楽しもう	10	33	中止
⑬ 科学のおもちゃ作り	16	24	未実施
⑭ 夏休みアニメ映画会 「つるにのってーとも子の冒険」 「フランダースの犬」	60	33	33
⑮ 夏休みアニメ映画会 「火垂るの墓」	60	—	未実施

新型コロナウイルス感染者の急増により、クッキーを作ろう、そば打ちは料理室で密になり食事を伴うため中止しました。

9 その他

講座名	回数	実績
にほんご学級	全26回 毎週木曜日	10名受講

芦屋市在住の外国人に広く知ってもらうためホームページで各国語のチラシを公開しました。

10 令和4年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室

(1) 概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障がい者が対象の教室で、今年度は尼崎市が幹事。
定員 尼崎市10人 西宮市10人 芦屋市10人

(2) 内容 【体験】【社会見学】【芸術文化】

- 10月 尼崎市歴史博物館 開講式・歴史講座・館内見学
- 11月 尼崎市立立花南生涯学習プラザ 吹奏楽コンサート
- 12月 尼崎市立立花南生涯学習プラザ いけばな体験
開講式

1 1 令和4年度 阪神くすのき学級 芦屋教室

- (1) 概要 阪神間の7市1町（芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町）に在住の聴覚・言語障がい者が対象の教室で、今年は芦屋市が幹事。県教育委員会が、県くすのき学級運営委員会に委託し、「阪神くすのき学級芦屋教室運営委員会」が実施。定員30人。
- (2) 内容 10月30日（日）
芦屋の街の文化探訪「ヨドコウ迎賓館へ」（集合場所 芦屋市民センター）
11月13日（日）
開講式
時事解説と手話落語 講師 宇宙亭 笑任
昼食 交流会
講義「阪神間の文化探訪」 講師 武庫川女子大学准教授 三宅正弘
閉講式